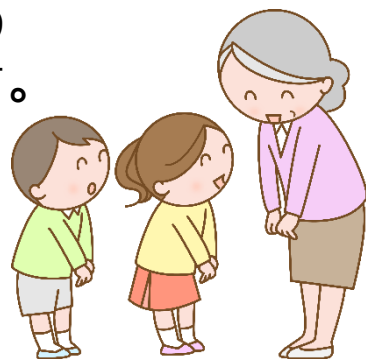




「いただきます!」「ありがとう!」

## 自ら挨拶できる子に!

挨拶という漢字の「挨」には相手の心を開く、「拶」には相手の心に近づくという意味があります。挨拶（あいさつ）とは、自分の心を開くことで相手の心を開き、相手の心に近づいていく積極的な行為と言えます。



### コツがポイント

#### ① 相手の目を見て、明るく元気に!

基本は、相手の目を見て、明るく元気に挨拶しようね、と教えましょう。相手より先に挨拶をすることも大切です。

#### ② 幼児が挨拶をしない理由を知る!

そもそも挨拶の必要性を知らない為、幼児期は挨拶の言葉を口に出すことに慣れていません。相手が自分の何倍も大きい大人の場合、相手に威圧感を抱いてしまうこともあります。

#### ③ 慣れるまでは保護者も一緒に! が基本

慣れるまでは、子どもと一緒に保護者も言うようにしましょう。大人に対する威圧感も取り除くことができます。自分より年下の子どもに「挨拶しようね」と声をかけ、習慣づけていきましょう。

### 日本の文化「いただきます」「ごちそうさま」



3歳頃までなら、まずは“食事を作ってくれた方”“食材を作ってくれた方”に感謝の気持ちで、「いただきます」「ごちそうさま」を言えるようになれると良いですね。